

平成28年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要  
林産部門

家族経営専門林家による自然と調和した高密度路網と美しい森林づくり

○氏名又は名称 橋本 光治・橋本 延子

○所在地 徳島県那賀郡那賀町

○出品財 経営（林業経営）

○受賞理由

・地域の概要

那賀町は徳島県南部の山間地域にある。町の北側は剣山山系、南側は海部山系に囲まれ、中央部を西から東に那賀川が貫流する。標高が高く急峻な地形が多い。森林面積は66千haで町内面積の約95%を占めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

橋本夫妻は、昭和53年に先代から森林経営を引き継ぎ、昭和58年から作業道の開設に取りかかり、森林保全と長伐期優良大径材生産を軸に、針広混交林の山づくりを目指している。高密度の作業道を開設することで、全ての施業を家族で行うことができ、間伐・択伐によって収入を得る非皆伐施業を実現している。

・受賞者の特色

(1) 環境に配慮した丈夫な作業道の開設

目指す森林づくりのため、切取高1.4m以内、幅員2m～2.3mを基本に、地形・地質や雨水処理を考慮した作業道を高密度（路網密度は約290m/ha）に整備した。このような環境に配慮した丈夫な道を作設したことから、補修作業はほぼ不要となっている。

(2) 所得率の高い林業経営の実現

高密度路網によって間伐・択伐作業の効率化が図られ、少人数労働での作業が可能となったことから、外注費用が不要となり、所得率の高い林業を達成している。また、非皆伐としていることで、重労働である夏の下刈り作業や獣害対策等が不要となり、育林期間の高コスト問題を克服する林業経営を実現している。

(3) 生物多様性重視の森林づくり

環境や地形に配慮した作業道開設と、これを活用したきめ細やかな施業を行うと同時に、伐採作業時には、枯死した木は野生生物のために可能な限りそのままにしておくなど、生物多様性を重視した森林づくりに努めている。

・普及性と今後の発展方向

橋本夫妻の環境に配慮した高密度路網の整備と森林づくりは、100ha規模の家族経営の専門林家として自立しており、林業経営の一つのあり方を実証している。

また、夫妻の自然と調和した林業経営のスキルは極めて高く、全国の林業技術者や林業経営者が学ぶべきものは多い。